

リコー三愛グループ案内

RICOH SAN-AI GROUP 2021

リコーグループ 三愛石油グループ



CONTENTS

ご挨拶

リコー三愛グループの明日へ	三愛会会長 近藤史朗	2
---------------	------------	---

リコー三愛グループ創業の精神	三愛精神	4
----------------	------	---

リコー三愛グループ創業者	市村清の生涯	5
--------------	--------	---

特別寄稿

市村清 愛の経営者	佐賀大学 経済学部 教授 山本長次	8
-----------	-------------------	---

市村清ゆかりの地探訪		12
------------	--	----

リコー三愛グループの歩み		16
--------------	--	----

三愛会会員会社紹介

リコーグループ		21
---------	--	----

三愛石油グループ		24
----------	--	----

その他団体		26
-------	--	----

サガテレビ／西銀座デパート／エフエム佐賀／瀬の本高原リゾート／
リコー三愛グループ健康保険組合／公益財団法人 市村清新技術財団／
リコーグループ福祉会

「三愛会」の歩み そして これから		28
-------------------	--	----



リコー三愛グループの明日へ

創業者の生きざまを学び、それを力に、飛躍する時

三愛会会長 近藤史朗

ユニークな企業グループ

リコー三愛グループという企業群は、創業者・市村清を親とした兄弟のようなものです。市村は、1936年、理研感光紙（現リコー）を創業しました。初めは感光紙事業でしたが、今では、事務機器や光学機器の製造・販売なども展開しています。

戦後になると、おしゃれの店三愛をはじめ、航空機燃料の供給等を手掛ける三愛石油、情報機器・精密加工部品・産業機器・腕時計のリコー時計（現リコーエレメックス）、コカ・コーラやジョージアコーヒー等の清涼飲料を手掛ける日米飲料（現コカ・コーラ ボトラーズジャパン）、日本初のリース会社となった日本リースなど、業種の異なる企業を次々と創業しました。

これら市村が創業した兄弟のような企業を中心に構成されたのが、リコー三愛グループです。異業種企業群というユニークなグループで

すが、兄弟同士が互いに切磋琢磨し、それぞれの事業で活躍してきたことが私たちの誇りであり、今後もそうあり続けたいと思っています。

市村清と三愛精神

佐賀県の貧農の家に生まれた市村の生涯は、まさに茨の道でした。また、事業に成功してからも、険しい道が続きました。次々と襲った苦難や困難は私たちの想像を絶するものでしたが、それらを乗り越え、道を切り開くことで、リコー三愛グループを立ち上げたのです。

市村は、戦後まもなく創業の精神「人を愛し国を愛し勤めを愛す」（三愛精神）を掲げました。その基本は、仕事を通して、人のため、社会のために役立ちたいという思いです。

この創業者の精神を受け継ぎ、厳しいときにこそ前進するという気概と行動力を持ち続け

ることが、私たちに与えられた使命だと思っています。

一方で、後年、市村は館林三喜男（第2代三愛会会長）に「三愛精神は、愛という言葉のため寛容の精神と誤解されやすい。そのためややもすればリコー三愛グループには、きびしさが欠如していた」と語っています。

私はこの話から、三愛精神は受動的なものではなく能動的なものとして考えるべきだと思うのです。ですから、私たちは、誰かに守られている愛のあふれる環境を求めるのではなく、仕事を通して人や社会、世界の役に立つという積極性を持って進んでいきたいと思っています。

企業は人々や社会の役に立つてこそ存在意義があります。社員は企業のために、どんなポジションであれ、常にイノベーターでなければなりません。市村が三愛精神に込めた思いを引き継ぎ、人々の役に立つ企業集団であり続けたいと思っています。

道を切り開く人

「人の行く裏に道あり花の山」、市村清の座右の銘です。人と同じ道を行けば、人と同じ景色しか見えない、人が行かないところに行けば、美しい景色が現れる。人がやらないことを求めてこそ発見がある、と市村は言います。

「お客さまというのはどんな商品にもサービスにも不満を抱くものである。その不満の裏にある、お客さま自身も気づいていない夢を見いだせるかどうか、新しい商品の開発につながる」、これが経営者としての信念でした。

創業者・市村清は何を考え、どのように行動して、リコー三愛グループを築いてきたのか。
創業の精神「三愛精神」に込めた真の思いは何か。
今こそ、創業者の精神と生きざまを学び、それを力にし、さらなる飛躍を目指す。



アップル社創業者のステイブ・ジョブズは自分の母親が携帯電話を使いにくいと言っていることをヒントにiPhoneを開発したそうだが、市村の発想と相通じます。

また、ネスレ名誉会長ヘルムート・マウハーの著書の中に、「リーダー（経営者）とは道を切り開く人であり、マネジャーとは問題を解決する人である」という言葉があります。

市村の興したファッション、リース事業、そしてオートメーション化したカメラ製造ラインなど、それまでなかったビジネスモデルは無から有を創造するものでした。

ステイブ・ジョブズと市村清、二人は時代を超えて希代の「道を切り開く人」であったと言えましょう。

私も技術者として、常に新しい発想、新しい商品という意識を持って仕事に携わってきました。創業者とは違う道と想っていました。後に実は同じ道のずっと先を偉大な先輩である創業者が歩いていたことに気づきました。また、創業者の生きざまに触れ、その精神をグループ全体に、次世代に伝えていかなければならないという気持ちを強く持ちました。

次代に向けて

『市村清実践哲学』（新装版…三愛新書）には、「事業の本質は世のため、人のために尽くすということにある」など、市村の遺した言葉の数々が著されていて、その生きざまに触れることができます。

市村が泉下の客となって半世紀。彼が身をもって示した「哲学」は時代を超えて、今を生きる私たちに力を与え続けてくれています。

リコー三愛グループはこの厳しい時代を乗り越え、将来も、人々や社会のために役立つ企業群であり続けなければなりません。

そのために、今こそ、創業者の精神と生きざまを学び、それを力にし、グループ一丸となつて、明日に向かってさらなる飛躍を目指していく時であると考えています。

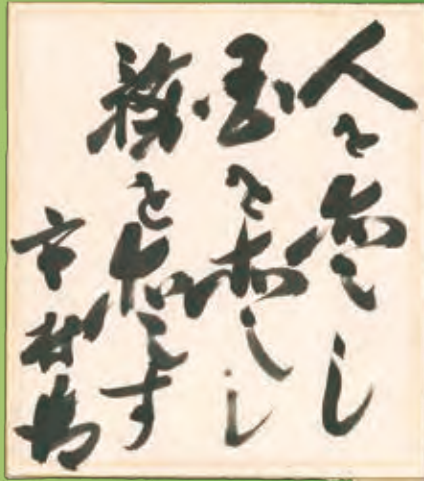
リコー三愛グループ創業の精神

三愛精神

人を愛し
国を愛し
勤めを愛す

リコー三愛グループ創業者

市村 清



市村 清 揮毫

(昭和 35 年 5 月 23 日 社長室において)

三愛精神は、1946（昭和21）年12月に発行されたリコー三愛グループの機関誌『三愛』創刊号に発表されました。

原文は文語体、旧字体などで記された格調高い文章ですが、難読であるため、1987年、「読みやすい三愛精神」として現代の文体で著されました。

西郷隆盛は「天を敬い、人を愛す」と言った。私は、あえて「三愛」と言う。

あの有名な西郷さんとかくらべられたいとは思わないが、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」という三愛精神は、私の生涯の信念である。

人間は万物の霊長といわれるが、人間ひとりひとりの価値は、人によって見方が異なる。学者が偉いと思う者もいるし、政治家、芸術家、財界人のほうが偉いとする考え方もあろう。そのいずれにもせよ、真に人間の偉さを決定するものは、その人の持つ「愛」の深さと広さではないだろうか。

すべての動物に自己保存があるように、人間も本能的に自己を愛する。下等な人間でも、自分だけは愛している。平凡な人間になると、妻子を愛し、両親を愛し、兄弟を愛する。すこし上等な人間になると、隣人愛にめざめ、次には民族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界の全人類を愛する。それがなおも徹底すれば、すべての動物、ありとあらゆるものを自分と同じように愛し、ついには自己以上に愛するようになる。そのため、自分を犠牲にしても惜しくない大きな愛の高まりにまで徹する。

この境地は、すでに仏であり神であろう。お釈迦さまやキリストがそれである。このように、愛の深さと広さが、どのくらいの段階に達しているか、それがその人間の本当の価値を決定するものであると確信する。

「愛」の精神は、すでに多くの偉人たちが説いている。しかし、私はあえて「三愛」の旗をかかげる。「三」とは何か。古典には「一は二を生じ、二は三を生じ、三は万物を生じる」とある。けれ

ども字引に「三愛」とは出ていない。三愛は私の発見であり、同時に絶対の信念である。

私の提唱する三愛主義とは、人を愛し、国を愛し、勤めを愛する精神であるから、世界人類の一員として、まずすべての人を愛すること。日本人としては、祖国日本を愛すること。そして自己がこの世に生をうけた意義を果たすため、自分にあたえられた任務を愛して一生懸命にはげむこと。

三愛主義こそ唯一救国の大道である。日本の全国民が三愛の精神に燃えたつならば、日本国はますます栄えると信じる。

「三は万物を生じる」の三愛精神は、どのような場合にも通用する。事業について言うならば、社員を愛し、資本を愛し、事業そのものを愛する。利益があれば、社員と、資本と、事業全体の運営改善のために、それを三分して使う。

教育について言うなら、教師を愛し、生徒を愛し、学問そのものを愛することである。

生活を楽しむなら、衣、食、住を心から愛するがよい。

自己を磨くときは、過去を反省し、現在を努力し、未来に希望を抱いて、そのすべてを愛し感謝する。

私はかねてから、この三愛の精神を信じ、三愛主義と名づけて、それを生涯の念願として実行してきた。事業の上でも「三愛」を商号とするのは、いよいよ自己の信念に忠実でありたいと願うからである。

私の愛してやまない社員諸君、今後とも三愛の精神に徹して、日本の発展に全力を傾けようではないか。



成績優秀なはずら好き

1900(明治33)年4月4日、市村清は佐賀県の貧農の家に生まれました。

土族の出である父は自尊心が強く、子供にも非常に厳しかったが、仕事は長続きせず、生活は常に困窮を極めていた。

小学2年生の頃、祖父が進学の元手にと雌の子牛を1頭買ってくれた。「この牛を育てれば、次々に子を産む。それを売って学費にすればいい」というわけだ。清は、わずかな小遣いも餌代に充て、遊ぶ間も惜しんで飼料の草やイモのつるなどを刈り集めたり、夢中になって牛の世話をした。

ところが、ある日、この牛が税金のカタに持って行かれてしまう。祖父は「お国で決めたことだから我慢せい」となだめるが、10歳の子供に分かるはずもない。世の中の不合理に対する反抗心は、このときに芽生えたのかも知れない。

こんな貧しい環境であったが、小学校の成績は常にトップで遊びやいたずらでもリーダー格。いたずらに怒って追い掛けてきた先生を、丸木橋を外して川に落としたりしたこともある。

佐賀中学を中退して 銀行に就職

伯母の援助で県立佐賀中学に入学したが、学費を援助される身はつらいことも多かった。情けなく悔しい思いが募

リコー三愛グループ創業者

市村清の生涯

り、とうとう中学を退学し、家に戻った。

家計を助けるために野菜売りを手伝うが、事情を知らない旧友たちが「清さんは中学に行つたんじゃないの」とささやいているのを聞くと、自分の姿がみじめで、たまらなく恥ずかしかった。

そんなとき、共栄貯金銀行で事務見習いを募集していると知って、応募し、見事に合格。それから2年、給仕のような仕事を続けた。その間に痛切に感じたのはやはり勉強をしなければ一人前の世渡りはできないということであった。東京へ行って、勉強がしたい、その思いを恐る恐る支店長に伝えると、意外なことに、本店への転勤が認められたのである。

青雲の志を抱いて東京へ

19年、上京して本店勤務になる。現金運搬のときに乗る人力車の中や、銀行で待っている間にも学習書を読み、翌年、中央大学の夜間部に入學した。

東京の生活も貧乏の極みであったが、他人の世話にはならないと誓い、水だけ飲んで過ごすこともまれではなかった。

大学2年のとき、資本主義にある不合理から貧富の差が激しくなり、それを改革するために共産主義が起ったという講義を聴いて、衝撃を受け、共産主義に傾倒。一方で、故郷の父母のことを思い、考え悩む日が続いた。当時、共産主義の実践運動は当局の弾圧下にあったからだ。



結婚 (1925.1.26)
大東銀行上海分行時代に結婚。妻となった幸恵は市村を励まし、支え続けた



北京に向かう前、生家にて (中央が市村) (1922)
大学を中退して、大東銀行の北京支店へ赴任。大陸渡航は人生の大きな転機となった



中央大学の学生時代 (1920)
貧しさのあまり、共産主義に傾倒したり、結核を患ったりしたが、翻意して肉体と精神の健康を取り戻す



共栄貯金銀行久留米支店の同僚と(一番上が市村) (1916)
中学を退学して、しばらく野菜売りをしていたが、共栄貯金銀行の事務見習員に採用された



小学校4、5年生 (1910)
貧しい生活だったが、成績抜群、遊びやいたずらでもリーダー格だった

そんなジレンマの中で、清は結核を患い、今度は死の恐怖にとりつかれてしまった。抵抗療法を強行して病気を克服。同時に精神の健康も取り戻していた。

保険外交員から理研感光紙の重役へ

22年、大学を中退して、北京の大東銀行へ赴任。翌年、上海に異動して、約5年を過ごし、その間に結婚もした。

27年、金融恐慌の影響を受け、大東銀行は閉鎖。市村は横領の嫌疑で5カ月の監房生活を送る。

嫌疑が晴れて帰国し、熊本で富国徴兵保険の保険外交の職に就くが、なかなか契約が取れない。夜逃げを考えたと、せめて一口取ってから」と妻に励まされ、ようやく最初の契約が取れたのは熊本に来てから69日目であった。それからはとんとん拍子で、全国一の契約高を達成した。

29年、富国徴兵保険を退社。理研感光紙九州総代理店の吉村商会の権利を譲り受け、福岡に初めて自分の店を持った。店主兼外交兼配達人兼荷造りで、がむしゃらに働き、半年目からは大幅に業績を伸ばす。間もなく新店舗を構え、朝鮮、満州の総代理店の権利も獲得した。

33年、理化学研究所の大河内正敏博士の招きで、理化学興業の感光紙部長に就任。ところが、学歴もなく、一代理店の店主に過ぎない市村への破格の厚遇が、一流大学出の部長たちの恨みを買ったこととなる。思いあぐねた市村は「何もしない」と決めて、遅い出社、昼はサロン通い、早い帰宅の生活を3カ月ほど続けた。

すったもんだの末、大河内所長の好意で、36年、「理研感光紙」(後のリコー)が創設され、市村は専務取締役役に就任。36歳であった。以降、市村は理研関係の重役を10社以上も兼任する。

「三愛」の精神に徹して

45年、敗戦。市村は終戦前夜の重役会で、戦後の方針を「サービス業の開拓」と決定。「三愛商事」を設立した。

サービス業の最も大きな課題は、「どこでやるか」である。市村は東京の地図を広げて毎日眺めていたが、ある日、隅田

川と鉄道と東京湾の線が三つともえになって結ばれている点が、銀座4丁目であることに気付いた。戦前から銀座が東京の中心であったことには人知を超えた必然性があった。銀座4丁目は再び中心地になるに違いない、と確信したのである。

46年8月、「三愛」をオープン。食料品を適正価格で売る店として名を高めた。

同年4月、市村は44年に発足した、関連会社からなる「自蹊会」を「三愛会」と改め、12月にはグループ機関誌『三愛』を創刊、誌上で「三愛精神」を発表した。

リコー三愛グループの礎を築く

リコー三愛グループの特徴は、異業種の企業群ということである。「一人一業の企業」というのは、例えば、本田技研やソニーのように、あらゆる力を一点に集中することによって他より抜きん出ることができ、時勢の影響で斜陽産業に追い込まれることもある。一方、多角経営は最高にはなれないけれど、安全性は高い」と市村は考えたのだ。開拓者のな性格にも多角経営の方が合っていた。

敗戦直後、明治神宮は参拝者もなく、すさみ果てていた。47年、明治神宮の再建に力を貸してほしいという要請を受けた市村は、元の憲法記念館を結婚式場「明治記念館」として再生。経営は明治神宮の名前で行うのだから、儲けは二の次だと考え、低価格に設定した。結果、周囲の予想に反して大成功を収め、現在に至っている。

後年、市村が説いた経営哲学の一項目「儲ける経営より儲かる経営」は、明治記念館の創業の中で、自らが体験した真理であった。市村は、明治記念館の運営が軌道に乗ったのを確認し、経営から手を引いた。

戦後の占領下では、日本国籍の航空機の運航が停止されていたが、50年、民間航空の再開が許可された。

52年、航空会社からの要請を受けて、航空燃料を供給する「三愛石油」を創立。航空機への給油にハイドラントシステムを考案し、出願するが、内外の石油資本の競願となる。市村は「日本の空の玄関は、日本人の手でやるべきであり、考えてプランを立てたのは自分である」とGHOに直訴、その



三愛石油羽田営業所開設式 (1952.10.27)
燃料タンク車が飛行機のところまで行って給油している様子を眺めているとき、水道のようにホースを引っ張ってきて給油すれば効率が上がるとひらめいた。この着想がやがてハイドラントシステムによる給油となる



明治記念館創立時の記念撮影 (左から7人目が市村) (1947.11.1)
戦後まもなく、明治神宮の再建に力を貸してほしいと要請を受けた市村は、結婚式場を思いつく。結婚相談から挙式・披露宴まで一切を斡旋するというスタイルが評判となり、大繁盛となった



理研感光紙発足 (前列中央が市村) (1936.2.6)
1933年、理化学興業の感光紙部長となる。周囲の反発など紆余曲折を経て、36年、感光紙部を理研感光紙株式会社として創立、専務取締役に就任。吉村商会は解散し、理研感光紙福岡支店となる

場で羽田の給油権を得た。

55年、ハイドロント施設による初の給油が行われる。三愛石油の給油業務は、急速に増大する需要にも迅速的な施設拡大によって対処して、高評価を得た。

戦後、独占禁止法により理研感光紙の生産は戦前の10%程度まで減少したが、49年に業界1位の座に返り咲く。そして、50年には二眼レフカメラの名作「リコーフレックスIII」を発売。感光紙とカメラを2本柱として、新しい時代へと踏み出した。

55年以降、カメラの輸出拡大と市場調査のため、頻繁に欧米を訪問。事務機の時代の到来を察知して、リコーピーなどの製品開発に力を注いだ。

63年、社名を「リコー」に変更。カタカナ3文字の社名は、市村自身が大いに気に入った。

57年、米国カメラショーの帰途に立ち寄ったマイアミ市に、日本の桜を寄贈することを決めた。しかし、桜は病原菌予防のため輸入禁止と判明したため、東洋原産のオーキッド300本を寄贈。さらに、日本庭園（イチムラ・ガーデン）も築き、日米親善に一役買った。

アイデア社長、躍進する

58年、西銀座の数寄屋橋の堀が埋め立てられ、高速道路が開通。道路下に誕生した日本初のショッピングセンター「西銀座デパート」の初代取締役社長に就任し、センター内に「三愛」を出店。西銀座デパートは有楽町の新名所となった。

62年、福岡の事業家の要請を受けコカ・コーラ事業に進出した。翌年、コカ・コーラの北九州地区ボトラーとして「日米コカ・コーラボトリング」がスタート。時流に乗って、年々倍増の販売成績を上げた。また鳥栖グリーン・プラント（公園工場）を竣工して、さらに業績を伸ばしていった。

62年、時の通産大臣らの要請で、名古屋の高野精密工業の再建に乗り出す。「一人もクビにしない」と約束して従業員の信頼を獲得。「リコー時計」と社名を変更し、わずか半年後には33石ダイナミック・オートや19石ハミングカレンダーなどのヒット商品を生み出した。

その後、品質問題が発生したが、企業体制を刷新して再出

発。新製品「リコー・ダイナミック・ワイド」は海外でも人気を得た。（86年、「リコーエレメックス」に社名変更）

64年、札幌市中島公園の一角に、超豪華ホテル「ホテル三愛」をオープン。しかし、リコーの再建などのために、わずか2年で手放すことになり、市村は従業員たちの前で男泣きに泣いた。その後、ホテル三愛は幾度か運営会社や名称を変えたが、三愛精神は創業の精神として今も受け継がれているという。

63年、日本初のリース会社「日本リース・インターナショナル」が誕生。使用すれど所有せず、機械は天下の回りもの、などのキャッチフレーズも話題になった。

46年の創業以来繁盛していた三愛も、数年後、国内の食料事情が安定してくると業績が落ち込んでいった。そこで市村は、女性のおしゃれ専門店へ業態変換して、起死回生を図る。その狙いが的中して、「銀座三愛」は戦後日本の女性ファッション業界を牽引する存在となった。

63年、銀座4丁目角に円筒ガラス張りの「三愛ドリームセンター」が誕生。深夜0時の開店披露宴が東京中の評判となった。ドリームセンターは今も銀座のランドマークとなっている。

終曲

市村にとって故郷佐賀は、たくさんの悔し涙を流した地であり、生きる力と勇気を与えてくれた地でもあり、終生忘れることはなかった。佐賀県体育館（現市村記念体育館）や母校北茂安小学校講堂の寄贈などは、故郷に恩返しをしたという願いの表れの一つであった。

68年秋、体の不調を覚え、精密検査を受けたときには、すでに病状は絶望的なもので、余命3カ月と診断された。

「裸で生まれてきたから、裸で帰る」「遺産を世の中の役に立つ仕事の基金としたい」という市村の思いを具体化するべく、三愛会の役員たちが奔走した。「新技術開発財団」（現市村清新技術財団）設立の認可が下りたのは亡くなるわずか4日前のことだった。

12月16日、永眠。全力で走りきった68年の人生だった。



母校北茂安小学校に講堂を寄贈
(1958.4.29)

故郷には苦難の思い出が満ちていた。人生の前半はそこから脱却するための戦いであった。しかし、老境に至って思い浮かぶのは懐かしい風景である。故郷のために何かしたいという感慨がわき上がってきた

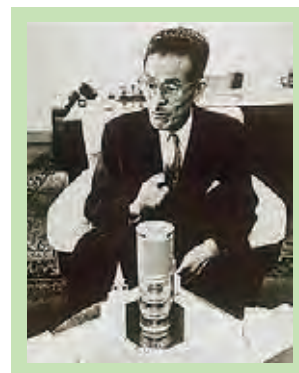


大阪にて電子リコピー BS-1 発表会
(1965.8)

リコー三愛グループの中核であるリコーを無配としたため、世間の非難を浴びた。再建のための諸施策がとられ、その原動力となったのが電子リコピーの完成であった。そして、わずか2年半で復配を実現する



コカ・コーラ第1号が
空輸便で届く (1963.5.4)
アメリカではコーラやコーヒー
みたいな色の付いた飲み物が好
まれているらしい。日本人はアメ
リカのまねが好きだから、きつ
とコーラも飲むようになる、と確
信して事業を引き受けた



三愛ドリームセンターの模型
を前に構想を練る (1960頃)
円筒形のビルの着想は、奈良法隆寺
の五重塔から得た。建物そのもの
が斬新だったため、あらゆる設備
が新たに考案された

市村 清 愛の経営者

佐賀大学 経済学部 教授 山本長次

市村の知名度

『日本経済新聞』の紙面に、財界人はもとより、各界の著名人が自身の半生を語る「私の履歴書」がある。市村清（1900〔明治33〕-1968〔昭和43〕）は、1962（昭和37）年2月21日から3月20日まで連載され、反響も大きかった。当時は、財界総理といわれた石坂泰三（1886-1975）が、経済団体連合会（経団連）の会長をつとめており、市村は、松下幸之助（1894-1989）、本田宗一郎（1906-1991）、ソニーの井深大（1908-1997）らと並んで、よく知られていた経営者であった。市村にとって石坂は、財界人の中で最も師事した人物であり、市村の葬儀委員長も彼がつとめた。市村のあと、館林三喜男（1904-1976）がリコー、三愛石油を

はじめ、リコー三愛グループを率いたが、市村が館林に対して語った石坂の魅力は、「人を見る目」と、「頼まれたら親身になって世話するところ」であった。他方、石坂は市村に対して、「彼は十年先のことを、自信を持ってやっている。その先見性に感心させられる」と評している。市村は当時、経営の神様、アイディア社長等といわれていた。

さらに市村は、松下、本田、井深らとも交流があり、例えば市村、本田、井深の3名が出演したTBSラジオにおける討論会では、市村が司会をつとめた。そこでの主だった議論は、多角経営と専業のどちらがよいかであった。市村は、多角経営の方が安全だと主張し、本田や井深は、技術者でもあることから、専業を主張した。のちに井深は、この問題について、「経営者自身に負うところや、事業の相互関連性によっ

て、どうしてもいえるのではないかと、市村に述べた。ちなみに市村は、オーナー経営者で、リコー三愛グループというコンダロマリットを形成するのみならず、特に営業・販売に長けた経営者であった。

市村の経営哲学

市村は、「人を愛し、国を愛し、勤め（当初は任務）を愛す」という三愛精神を、経営信条として掲げた。第二次世界大戦終了後間もない、1946（昭和21）年12月のことで、グループ機関紙『三愛』の創刊号上にであった。もちろん、それまでの市村の業績や思想形成、そして彼の事業経験等にベースがあるとともに、すでに三愛の名が入った三愛商事が、1945年11月に創立されていた。翌1946年8月、銀座に三愛の店舗が開業され、当初は、食料品等



リコー館に夢を託して
(万国博出展参加正式契約第1号)

日本万国博覧会協会において
石坂泰三会長（左）と市村清
(1968年7月9日)

が販売された。現在、三愛ドリームセンターがある、銀座4丁目交差点に面した場所であった。

市村は、幼少期や青年期、そして事業にたずさわってからも大変苦勞し、終戦間もない当時、敗戦にともなう祖国の惨状をみていた。彼には事業を通じて、日本を再建し、平和の礎を築きたいという思いがあった。他方、このあたりは、先ほど触れた松下幸之助がこの頃、PHP（繁榮による平和と幸福という意味）運動を展開し始めていたこととの共時性や精神性に興味を感じた。

いずれにしても市村は、あらゆる困難に直面した時、災いを福に転じる方法を案じた。そして、自分自身のためよりも、家族、周囲、そして国といった人々のためという気持ちで臨むと、屈せず、勇気を出し得た。

いうまでもないことであるが、愛は人間にとって、根本的なものであり、一番大事なものである。人類史上、三聖人といわれる孔子は仁といい、釈迦は慈悲といい、キリストは愛といっている。

市村は、「真に人間の価値を決定するものは、愛の深さと広さである」という。そして、「三愛」は、彼が考え出した言葉であった。彼は、隣人愛は国民同胞、世界の全

人類、さらに森羅万象への愛に広がり、遂には自己以上に愛し、大乘の愛にまで達し得ると考えた。愛こそが本物で、この三愛精神の根本は、仏典にいう衆生済度（しゅじょうさいど）にもつながるのであった。そして、独立自尊の旗を掲げて進む中、固い意志が尊い人生の光となり、この光こそが、困難の闇をつらぬいていくと信じたのであった。

ところで、市村が敬慕した人物の一人として、彼の出身地である佐賀にもゆかりがあり、陸軍中将や司法大臣等をつとめた柳川平助（1879-1945）がいた。戦時中の二人の間のやり取りであるが、柳川が一番尊敬する人物として、釈迦をあげた理由に市村は感銘した。釈迦は、この世に現われて2500年余りの間に、何百億もの人々から信仰の対象とされ、僧侶は、釈迦の教えを伝道することで信徒から貢物を受け、寺院まで建ててもらえた。このことを事業に置き換えてみると、釈迦は人類史上、最も営業に長けた人物ともいえた。

釈迦は私利私欲を捨てて、誰もが幸福になるようにという悲願を持っていた。つまり、大きな人類愛の上に立ったので、人々の心をつかんだということが、市村の胸にひしひしと迫った。事業家も衆生済度に近い、大衆のためを目指さなければ、真の繁榮はあり得ないことを自覚した。

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」必要

市村にとって、愛こそが仕事の根幹であった。

「人を愛す」こと、「国を愛す」こと、そして「勤めを愛す」ことの関係は、次のとおりである。

「人を愛す」ことにより、楽しく働ける環境が築けた。また、「勤めを愛す」ことにより、豊かな生活が築け、人のことまで考える余裕が持てるといった。どんどん拔擢され、職場における地位が上げれば、他人のことを考え、より「人を愛す」ことができるようになる。そして、個人としてそこまですれば、やがて社会を愛し、「国を愛す」精神にもつながるのであった。

さらに、勤めについてであるが、辛いもの、我慢して耐えなければならぬもの、給料をもらうためのもの、家族を養うために仕方なくするものという観念は、市村の事業では打破しようと考えた。

ところで市村は、仕事が面白くなり、幸せになるためには、創意工夫を凝らして仕事を行うべきことを述べている。創意工夫を凝らすことにより、仕事は楽しくなり、楽しければ給料や労働時間にかかわりな

く、自然に身も心も打ち込められるのである。

仕事に打ち込んでいる人間の姿は大変神聖で、そのような人は同僚や部下から尊敬され、上司からも信頼される。また、自分自身を純粋化し、精神的にも向上し、仕事そのものの技術も熟達する。他方、いやいや、いい加減に、ただ、表面だけ要領よく仕事を行うと、心が濁り、皆から軽蔑を受け、いつまでたっても拔擢されず、最後には生活に困ることになる。

市村は生涯にわたって、どうすれば世の中がお互いに幸福になれるか、どのような道をとれば、お互い豊かな生活ができるのかという命題を追求し続けた。彼は単なる利潤追求ではなく、ヒューマニズムの流れる事業家たることを信条として、事業を繁栄させようとした。市村は、利潤追求と自身の経営との関係について、「儲けるではなく儲かる」経営であると述べている。利益は結果であるとともに、顧客はもちろんのこと、従業員の満足の上にも成り立つということであろう。

そして市村は、「従業員は使用人ではなく、事業の協力者」であるといっている。彼に再建が託されたリコー時計（現、リコーエレメックス）以外、彼が設立した諸企業に労働組合はなかったが、そのような要因

として、三愛精神や、このようなオーナー経営者との間の情が通った相互信頼関係もあげられよう。彼は従業員との対話や配慮に心掛けるとともに、時には社内放送を通じて、全従業員に信条を語りかけることもあった。

経営再建

しかし、時には、愛にきびしさももたらした。市村は、「三愛精神は、愛という言葉のため、寛容の精神と誤解されやすい。そのため、ややもすればリコー三愛グループには、きびしさが欠如していた」と、あとを託した館林三喜男に語ってもいる。そして、市村自身も統率する会社数が増え、それぞれが大規模化し、さらに、彼自身が経営以外にも含めて多忙になると、役員や従業員との間の意思疎通も、十分なされなくなってきた。

市村は、人生最大の試練を、1964（昭和39）年末から1965年にかけて経験した。東京オリンピックの年から翌年にかけてのこと、「証券恐慌」、「昭和40年不況」等といわれた最中でもあった。リコー関係では、販売上のチェックが不十分であったため、架空販売もみられ、不良在庫や売掛けがかさみ、遂には欠損を計上するにいた



山本長次（やまもと・ちようじ）教授

1962年 神奈川県横浜市生まれ
 1993年 國學院大學大学院経済学研究科
 後期博士課程単位取得退学
 1993年より國學院大學経済学部非常勤講師
 1994年より佐賀大学経済学部講師・助教授・准教授
 を経て、2014年より教授
 市村清に関する著書として、『市村清と佐賀』（岩田書
 院、2014年）がある。

った。そして、市村自身にもトラブルが重なり、マスコミからもきびしい批判を受けた。

市村は一時、自殺を考えるほど追い詰められ、ベッドに入っても眠れない日々を過ごし、睡眠薬や寝酒も多用した。それでも、第二次世界大戦中の兵士は、ベッドなどで休めず、戦場となった孤島などで追い詰められ、玉砕していったことを考えると、自分はまだ、恵まれた立場にあると思つて奮起した。そして、リコーの経営再建については、戦争で焦土と化した日本が、勤労の所産により15年ほどで経済大国となった事実から、意識改革を起こし、一丸となつてやればできると確信した。

市村にとって最悪の事態は、不渡りを出

してリコーが倒産することであつた。そこで、再建策として、まず彼は銀行まわりから始めるとともに、販売上のチェックの厳格化、開発部門に対する進捗状況の逐次報告の義務化、役員の再編、組織の統廃合、人員出向などの経営の効率化、借入金返済などが実施されていた。そして、新商品電子リコピーが1965年8月に発表されることなども相まって、リコーは復活した。

最期

市村は、1968（昭和43）年12月16日に68年の生涯を終えるが、その前月の11月5日、千駄ヶ谷の東京都体育館で、リコー

三愛グループ合同大運動会が開催された。市村は、すでに病床に伏せていたが、開会時から出席した。そして閉会式の際、従業員やその家族らに、「皆さんとうとうして、一堂に会するのが私の念願でした」と、最後の別れとなる挨拶をしたが、筆者はこの時、市村は人生最大の感動につつまれたと思つている。

挨拶を終えると、万雷の拍手がわき起り、鳴り止まない中を、ステッキを左手に、そして、妻の幸恵に支えられながら会場を後にした。出口で市村は一度足を止め、ゆつくりと振り返ると、明るい笑顔をかえしながら右手を高く振った。さらに拍手が一段と強くなり、場内を圧する中、手を振りながら場外にその痩せた後ろ姿を消した。市村は愛をもって、人や事業を残すとともに、出身地の佐賀や日本、世界に対しても多くの貢献を果たした。また、彼は自らの経験をもって、私たちに勇気と希望を与えてくれる。彼の生涯から、諦めず、責任を自覚し、全身全霊、愛を込めて人々やものごとに取り組むと、たとえ逆境にいたったとしても、のちにチャンスや幸福がやってくるのがわかる。市村は館林に対して、「勇気を出してやり抜いてくれ」と遺言を発し、事業を託したが、それは、私たちに対してのメッセージでもある。

市村清ゆかりの地探訪



チビ清

佐賀県の貧農の家に生まれながら、数々の困難を乗り越えて、リコー三愛グループの礎を築いた創業者・市村清。その原動力となったのは卓抜たるアイデアとたゆまぬ実行力、そして故郷を愛する心でした。ゆかりの地を訪ね、その足跡に触れて、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の精神に徹して走り続けた市村の生きざまを感じてみてはいかがでしょうか。



■所在地
東京都中央区銀座
5-7-2

今なお銀座4丁目のランドマーク 三愛ドリームセンター

「日本一のこの地に、世界一珍しい建物を建設して観光日本の一助に資したい」という市村の思いは、旅先で見た奈良・法隆寺の五重の塔がヒントとなって実現しました。

1963年1月13日午前0時の開店披露宴。ドラムロールが響く中、総ガラス張りの円筒形ビルの1階から上へと順に明かりがともって行き、最後に広告のネオンが点灯して全館が金色に。

オープンから半世紀を超え、今なお銀座4丁目のランドマークです。



■所在地
東京都大田区
羽田空港 3-7-1
TEL 03-5757-0321

ハイドラント給油システムを考案

三愛石油 羽田支社

羽田空港の滑走路の地下に航空燃料を供給するためのパイプラインを敷き、航空機に給油することができるハイドラントシステムの考案は市村によるものです。以来、ハイドラント施設は国内外の主要空港に採用されています。

三愛石油はハイドラントシステムのノウハウを生かし、航空燃料取扱事業においてオペニオンリーダーの役割を果たしています。

HP <http://www.san-ai-oil.co.jp/>



■所在地
東京都大田区北馬込
1-26-10
TEL 03-3775-2021

大田区北馬込の高台に立つ白亜の洋館

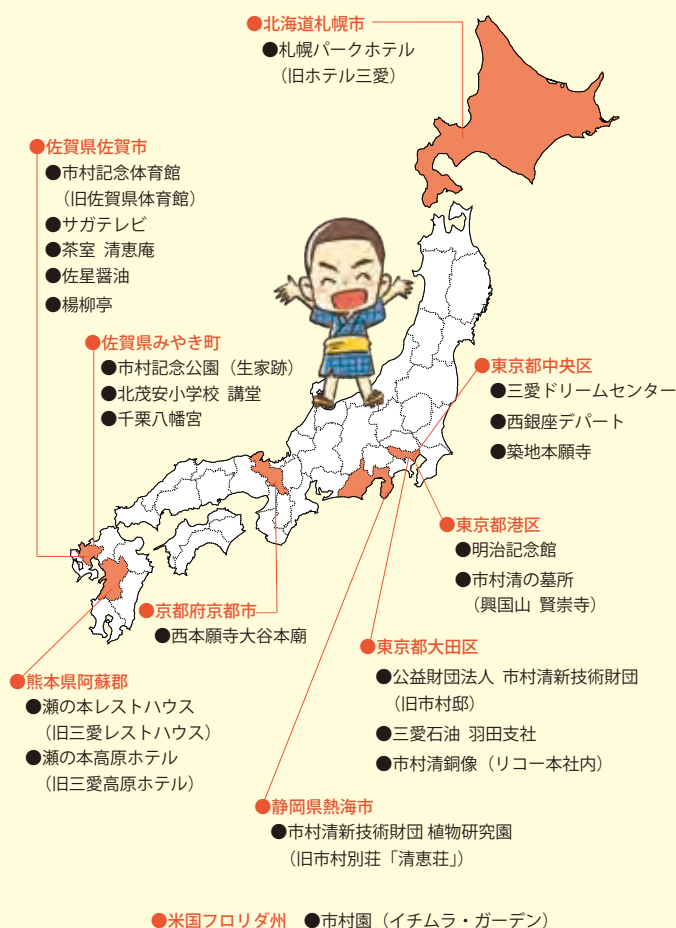
公益財団法人 市村清新技術財団 (旧市村邸)

1937年、37歳の市村は北馬込に居を構えました。眼下に見える細い道に面して旭光学（リコーの前身）の工場がありました。やがて、細い道は環状7号線に、工場は現在のリコーの基盤となりました。

54年に新築された自宅は、市村が好んだ柔らかな曲線が出窓やらせん階段をはじめ、そこそこに生かされた設計となっています。

現在は、財団に寄贈され、財団本部となっています。

HP <http://www.sgkz.or.jp/>





■所在地
東京都大田区中馬込
1-3-6
TEL 03-3777-8111

社員たちの募金で建立された 市村清銅像（リコー本社玄関前）

1969年12月16日（市村清の一周忌）、リコー本社玄関前で、市村の銅像除幕式が行われ、生前親交のあった政財界、学界、芸能界の方々、近親者、グループ各社代表約100名が出席しました。

台座正面の「市村清像」は市村が最も敬愛した石坂泰三氏の揮毫によるもの。建立募金に応募した約14,600名の名簿は台座の中心部に埋蔵され、保存されています。

HP <https://jp.ricoh.com/>



■所在地
東京都中央区銀座
4-1
TEL 03-3566-4111

ショッピングセンターの草分け 西銀座デパート

戦後、西銀座の名所であった数寄屋橋の堀は高速道路のために埋め立てられ、道路下は事務所や商店街になりました。商店街の真ん中にオープンした西銀座デパート（市村が初代社長）は、有楽町の新名所として、おしゃれな女性たちでにぎわいました。

現在、女性ファッション、三愛水着楽園、レストランなど多彩な店舗が揃い、当選数日本一といわれる宝くじ売り場もあります。

HP <https://www.nishiginza.co.jp/>



■所在地
東京都港区元麻布
1-2-12
TEL 03-3451-2359

佐賀鍋島藩歴代藩主の菩提寺 市村清の墓所（興国山 賢崇寺）

1968年12月16日、市村清は68歳の生涯を終えました。今、両親や幸恵夫人とともにここに眠っています。三愛会では毎年命日などに墓参を行っています。

賢崇寺は佐賀藩士をはじめ佐賀ゆかりの人々の墓が多くあります。市村がここを選んだのも、佐賀出身であり、祖父が佐賀藩士だったことによるものです。



■所在地
東京都港区元赤坂
2-2-23
TEL 03-3403-1171

戦後まもなく手掛けた明治神宮の結婚式場 明治記念館

1947年、明治神宮の再建に力を貸してほしいと依頼された市村は、厳粛な形式を残す憲法記念館の建物を見ているうちに、結婚式場のアイデアがひらめきました。狙いは大成功で、その年の挙式数は295組を数え、翌年開設した結婚相談所には多くの若い男女が訪れました。

その後、市村は経営から退きましたが、同館はさらに発展を続けて施設も拡大。開館から70余年、総挙式数は21万組を超えました。

HP <https://www.meijikinenkan.gr.jp/>



■所在地
東京都中央区築地
3-15-1
TEL 03-3541-1131

合同葬儀が執り行われた寺院 築地本願寺

1968年12月20日、市村のグループ合同葬儀が執り行われた浄土真宗本願寺派の寺院。葬儀には、政財界をはじめ文化・スポーツ、芸能関係者など生前交流のあった方たち、約7,000名が参列。広い境内に入りきれなかった参列者の列が歩道にまで続いていました。

当寺院は日本を代表する寺院の一つで、インドの古代仏教建築を模した本堂は国の重要文化財に指定されています。

HP <https://tsukijihongwanji.jp/>



■所在地
静岡県熱海市
相の原町11-8
TEL 0557-81-2656

36歳のときにつくった熱海の別荘（清恵荘） 市村清新技術財団 植物研究園（旧市村別荘）

理化学興業の感光紙部長に就任したとき、市村の手元には代理店（吉村商会）を返上した大金がありました。預金して楽に生きていこうとすれば人生が怠惰になってしまう、と考えた市村は約12,000m²の土地を買って別荘を建てたのです。（夫婦の名前から「清恵荘」と命名）

幸恵夫人の死後、財団に遺贈され、植物研究のための施設として開園しました。

HP <http://www.sgkz.or.jp/outline/brg/>



■所在地
佐賀県佐賀市城内
2-1-35
TEL 0952-22-8024

郷土の青少年スポーツ振興のために 市村記念体育館（旧佐賀県体育館）

1963年、故郷佐賀県の青少年スポーツ振興のためにと、市村が私財を投じて寄贈した体育館。落成式に出席した市村は、館内を圧する拍手と歓声に迎えられて、「故郷に残し得る一番大きなものになったかもしれない」と目頭が熱くなるのでした。設計は、坂倉準三氏。

体育館としての役割を終え、2019年に改修が決定。次世代を担う人材育成や文化・芸術の発信拠点として生まれ変わります。



■所在地
北海道札幌市中央区
南10条西3丁目1-1
TEL 011-511-3131

冬季オリンピックに向けて建設された国際級ホテル 札幌パークホテル（旧ホテル三愛）

札幌冬季オリンピック開催が決まり、札幌にホテルを造ってほしいという要請を受けて、1964年に創設した国際級の豪華ホテル。リコーの不振などにより2年足らずで手放しましたが、三愛精神は創業の精神として、しっかりと受け継がれてきました。

現在は、アクセスの良さ、温かなサービス、自然豊かなロケーションが高い評価を受け、札幌有数のシティホテルとなっています。

HP <http://www.park1964.com/>



■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町白壁 2403
TEL 0942-89-5566

恩師が宮司を務めた郷里の神社 肥後国一の宮 千栗八幡宮

神亀元（724）年創建の神社。佐賀中学を中退した市村が通っていた塾の塾長・岡泰雄が晩年宮司を務めました。

1940年、市村の多額の匿名寄進や地元有志の寄進により社殿が改造され、佐賀県唯一の格式の高い神社（国幣小社）へ昇格しました。

毎年3月15日に「お粥だめし」、8月1日に「名越祭」、9月15日に秋の大祭「放生会」・「行列浮立」が行われます。

HP <http://www.miyakikankou.jp/main/53.html>



■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町白壁
（市原）

佐賀県の生家跡地を公園として寄贈 市村記念公園（生家跡）

佐賀県の東端に位置する三養基郡みやき町（旧北茂安村）、ここが市村清の生誕地です。明治維新まで旧鍋島藩の領地で、市村の祖父は佐賀鍋島藩士、父も武士の末裔でした。市村自身、佐賀の士族の資質を受け継いでおり、それが人生の大きな力となったと感じていました。

2001年、市村清生誕100年を記念して、生家のあった場所を市村記念公園として町に寄贈。市村の胸像も建てられました。現在は地元の人たちが管理しています。



■所在地
佐賀県佐賀市松原
3-2-37
TEL 0952-23-2138

郷土の老舗料亭 楊柳亭

明治15（1882）年創業の老舗料亭。市村が最初に訪ねたのは保険の勧誘のためでしたが、そのときは当主に話も聞いてもらえなかったそうです。そのふがいなさを猛省し、奮闘した結果、営業成績トップを収めるまでに成長したのです。その後、事業家として成功した市村は、佐賀へ帰郷した折には必ず立ち寄り、馴染みとなりました。

創業から百有余年、調度品などからも歴史の趣が感じられます。

HP <https://yoryutei.com/>



市村が寄贈した講堂
（1958年当時）



■所在地
佐賀県三養基郡
みやき町大字東尾
420
TEL 0942-89-2123

故郷に恩返しをしないと母校に寄贈 佐賀県みやき町立北茂安小学校 講堂

市村は故郷を愛していました。苦難の思い出に満ちた地でしたが、人生の出发点でもあったからです。この講堂は故郷への恩返しの気持ちから、1958年寄贈されました。それから30年余りが過ぎ、建物の老朽化が進んだため、91年に建て替え。新講堂には、市村清コーナーが設けられ、市村の業績を児童たちに伝えています。

現在、児童数は約500名、元気いっぱい学んでいます。

HP <http://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-e/>



■所在地
京都府京都市東山区
五条橋東6丁目514
TEL 075-531-4171

市村夫妻の分骨を納めた親鸞聖人の廟所 西本願寺大谷本廟

1969年春、幸恵夫人は市村の分骨を京都の浄土真宗本願寺派（西本願寺）大谷本廟に納めました（後に、幸恵夫人の分骨も納められた）。

大谷本廟は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の廟所で、大谷墓地や無量寿堂（納骨所）には、全国の門信徒の遺骨が納められています。

三愛会近畿支部では、毎年4月に法要を営み、創業者の遺徳を偲びつつ、親睦を深めています。

HP <http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp/>



■所在地
佐賀県佐賀市内
1-6-10
TEL 0952-23-9111

佐賀県唯一の民間放送局 サガテレビ

佐賀県に民間放送局を開局するために、市村は地元の有志とともに奮闘し、1967年、佐賀放送を設立しました。翌年3月に会社登記をし、初代会長に市村が就任しました。同年5月に、サガテレビと社名変更。69年4月、本放送を開始し、2019年、開局50周年を迎えました。

現在、フジテレビネットワークの一局として佐賀県を中心にホットな情報を配信しています。

HP <https://www.sagatv.co.jp/>



■所在地
瀬の本レストハウス
熊本県阿蘇郡南小国町
大字満願寺
5621-7
TEL 0967-44-0011

瀬の本高原ホテル
熊本県阿蘇郡南小国町
大字満願寺 5644
TEL 0967-44-0121

雄大な阿蘇五岳や九重連山を一望する 瀬の本レストハウス・瀬の本高原ホテル （旧三愛レストハウス）（旧三愛高原ホテル）

1963年、やまなみハイウェイ（九州横断道路）の建設が決まり、当時の南小国村村長から土地開発の依頼を受けた市村は、65年、瀬の本高原の三愛レストハウスを完成。さらに、83年には三愛高原ホテルを開業しました。（両施設とも、2019年10月に社名変更）

HP <https://rest.senomoto.com/>（瀬の本レストハウス）

HP <https://hotel.senomoto.com/>（瀬の本高原ホテル）



■所在地
佐賀県佐賀市内
1-15-23
（佐賀県立博物館敷地内）
TEL 0952-24-3947

旧佐嘉城南堀に面した閑静な茶室 茶室 清恵庵

市村の遺志により、幸恵夫人が1973年に佐賀県に寄贈した茶室。佐賀県の施設として茶会や茶道の研修会などに利用されています。

敷地面積は230平方メートル、建築面積70平方メートル、建物は四畳半の茶室（小間）と七畳半の広間兼水屋、寄付、台所、トイレで構成されています。設計は茶室建築の第一人者である堀口捨己氏によるもので、貴重な建築遺産となっています。

HP <https://saga-museum.jp/museum/facility/teahouse.html>



■所在地
1101 MacArthur
Causeway, Watson
Island,
Miami, FL 33139
TEL +1 305-992-0703

米国マイアミ市に寄贈した日本庭園 市村園（イチムラ・ガーデン）

1957年、米国のカメラショーに出席した市村は、帰途立ち寄ったマイアミ市に日本の桜の寄贈を申し出ました（翌年、オーキッドに変更）。さらに日本庭園を造らせ、日米親善の一役を果たしたのです。

しかし、度重なるハリケーンなどにより甚大な被害を受け、その後、修復工事を経て、現在はマイアミ市営庭園「市村園」として公開。季節ごとのイベントなども開催されています。

HP <http://friendsofjapanesegarden.com/>



■所在地
佐賀県佐賀市唐人
1-1-16
TEL 0952-23-6424

理研感光紙九州総代理店を兼業していた 佐星醤油

創業明治30（1897）年の老舗醤油醸造元。4代目・吉村吉郎氏は醤油醸造のほかに富国徴兵保険の代理店（吉村商会）と理研感光紙の九州総代理店を兼業。ここが市村と理研の最初の出合いの場でした。

その後、理研感光紙の九州総代理店の権利を譲り受けた市村は、その販売で力を発揮し、理研の大河内博士から認められることになりました。リコーの原点はここからです。

HP <http://www.saboshi.co.jp/>

リコー三愛グループの歩み

三愛石油



三愛石油(株)設立

1952年6月9日
石油製品の販売を目的として、三愛石油(株)の商号でスタンダード・ヴァキューム石油会社の代理店として発足。

三愛石油

羽田営業所を開設。 航空機への給油事業を開始

1952年10月27日
羽田空港内における構内営業を許可され、空港内に羽田営業所（現羽田支社）を開設。航空機への給油事業に着手した。

三愛会

自蹊会を「三愛会」に改称 (三愛会設立)

1946年4月4日

三愛会



市村、 グループ機関誌『三愛』創刊 「三愛精神」を発表

1946年12月

リコー



理研感光紙から理研光学工業へと社名を改めた頃の本社（1938年、銀座8丁目）

理化学興業(株)から独立し 理研感光紙(株)として設立 (38年、理研光学工業(株)に社名変更)

1936年2月6日
財団法人理化学研究所における発明の工業化を目的とする理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。市村清、専務取締役役に就任。

三愛会



自蹊会発足 グループ機関誌『自蹊会会報』発行

1944年10月
社員が勤めを楽しく面白いと感じ、働くことに何の心配もない独特の「市村産業団」をつくり上げるため、各社の連携を図る目的で関連会社7社からなる自蹊会が設立された。

1950

1936

リコー



理研光学工業、 「リコーフレックスⅢ」 を発売

1950年3月
カメラの大衆化の先駆けとなったリコーフレックスⅢは、カメラ店が大森工場まで直接買い付けに来るほどの大ブームとなった。

三愛



銀座に誕生した三愛（1946年）

三愛商事(株)設立 (48年、三愛商事を(株)三愛に改組、設立)

1945年11月1日
終戦後の事業方針を「サービス業の開拓」と決定した市村は、三愛商事を設立し、食料品を適正価格で売る店をスタートさせた。

リコー



理研光学工業、 ジアソ複写機の1号機 「リコピー 101」を発売。 事務機器分野へ進出

1955年11月
市村はカメラの輸出拡販と市場調査のために頻りに訪問した欧米で、事務機の時代の到来を察知した。

明治記念館



明治記念館創立時

市村、 明治神宮からの 再建要請で 明治記念館を開館

1947年11月1日
元憲法記念館を結婚式場として開館、大成功を収める。

三愛会	リコー三愛グループ以外の、市村清が手掛けた会社（初代社長就任）	市村清新技術財団	三愛石油／三愛石油グループ	リコー／リコーグループ
-----	---------------------------------	----------	---------------	-------------

リコー

理研光学工業、
(株)リコーに社名変更

1963年4月

三愛会



市村、佐賀県に佐賀県体育館
(現 市村記念体育館) を寄贈

1963年3月11日

小学校への講堂寄贈と同様に故郷への恩返しの一つ。スポーツ強化、文化振興など広く活用されている。

三愛



1990年、広告塔に「San-ai」の文字が浮かび上がった

三愛ドリームセンター
完成

1963年1月13日

深夜午前0時の開店披露イベントが話題となる。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



ボトラー契約調印式

飲料の製造・販売会社、
日米飲料(株)を設立

(63年、日米コカ・コーラボトリング(株)
に社名変更)

1960年12月20日

北九州地区のコカ・コーラ事業に進出。

三愛石油



三愛石油、
ハイドラント式給油
施設による航空機給
油業務を開始

1955年12月15日

その第1号となったのは
日本石油(現 JX エネルギ
ー(株))で、航空機は日航
DC-4 型双発機であった。

1960

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリングの本社・
福岡工場を開設

1963年5月4日

深夜、歓声の中で福岡工場からコカ・コーラ第1号
製品が誕生した。翌年、わずか1年余で製造100万
ケース突破の快挙を成し遂げた。

リコーエレメックス



1962年12月、岡崎工場内に新設された量水器工場

市村、高野精密工業(株)の再建に着手
(62年8月、リコー時計(株)に社名変更)

1962年5月8日

時の通産大臣らの要請で、名古屋の高野精密工
業の再建に乗り出す。「ダイナミックオート 33」
などの人気商品を生み出していった。

三愛会



市村、母校の佐賀県北茂安
小学校に講堂を寄贈

1958年4月29日

故郷へ恩返しをしたいという願いの
表れであった。

日本リース



(株)日本リース・インター
ナショナル設立

1963年8月1日

「使用すれど、所有せず」のキャ
ッチコピーのもと、アメリカで
成長していたリース業に進出。

西銀座デパート



西銀座デパート開店

1958年10月1日

数寄屋橋の堀が埋め立てられ、高速道路が開通
したことを契機に道路下に日本初のショッピン
グセンターを開設した。

リコー



デミング賞の
メダル

リコー、事務機業界初の デミング賞を受賞

1975年11月
2代目社長館林三喜男の強い意
志で品質管理向上を図った成
果が表れた。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリング、 鳥栖工場を開設

1967年6月20日
竣工披露パーティーに市村も出席。

市村清新技術財団



財団事務所となった旧市村邸と
市村賞トロフィー

新技術開発財団設立を 内閣総理大臣認可

1968年12月12日
市村は世の中の役に立つ仕事の基金として個人
資産のほとんどにあたる約30億円を寄付、設
立が許可されたのは亡くなる4日前であった。



ホテル三愛



ホテル三愛（現 札幌パークホテル）開業

1964年7月10日
市村はホテル業界へも進出したが、リコーの再建途
上で1966年には売却することとなった。

リコー



リコー、静電複写機 「電子リコピー BS-1」発売

1965年9月
電子リコピーの大ヒットは、無配に転
落したリコーの救世主となった。

1970

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



日米コカ・コーラボトリング、 北九州コカ・コーラボトリング(株) に社名変更

1973年7月1日
社名変更にあたり、同年4月、門司工場
を開設。5月22日に盛大な竣工式典が
行われた。

三愛会

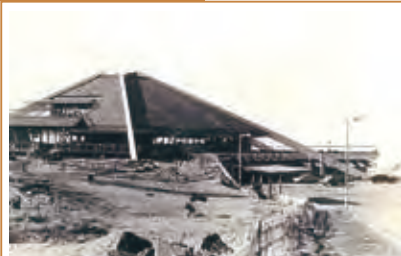


在りし日の市村清

創業者・市村清逝去

1968年12月16日

瀬の本高原リゾート



三愛レストハウス完成披露・開業

1965年8月25日
熊本県国立公園阿蘇山の一角、瀬の本高原
に位置し、九州横断道路の中心にある。

リコーリース



2001年、東京証券取引所市場第一部に指定

リコークレジット(株)設立 (84年リコーリース(株)に社名変更)

1976年12月
事務用機器を中心としたクレジット
販売事業、金融機関提携ローンなどの
融資事業の営業を開始した。

リコー三愛グループ



リコー三愛グループ、 日本万国博覧会（大阪）に リコー館を出展

1970年3月14日
大きな目玉のバルーンが異彩を放ち、万博の
お祭りムードを盛り上げると好評であった。

リコーエレメックス



リコー時計、恵那工場増築竣工

1966年12月24日
腕時計生産を名古屋より恵那工場へ集中。

三愛石油

三愛石油、創立 50 周年を迎える

2002 年 6 月 9 日

三愛石油

Obbli

三愛石油、 コーポレートブランドを導入

2002 年 11 月 1 日

三愛石油



三愛石油、石油元売会社である キグナス石油(株)の全株式を取得

2004 年 12 月 1 日

これにより業容の拡大を図るとともに、
長期にわたる石油製品購入権獲得による
仕入れの安定化およびグループ規模での
販売ネットワークの拡大を図った。

市村清新技術財団



新技術開発財団、 熱海に植物研究園開設

1991 年 10 月

市村清の熱海にある別荘「清恵荘」を市村幸恵
夫人の遺志により植物研究園として研究者に
開放した。

瀬の本高原リゾート



三愛高原ホテルの営業開始

1983 年 4 月 1 日

三愛観光、三愛レストハウスの建つ熊本県
阿蘇・瀬の本高原に、三愛高原ホテルをオ
ープンした。

三愛石油



三愛石油、羽田空港における 新航空機給油施設供用開始

1996 年 10 月

リコー



リコー、創立 50 周年

1986 年 2 月 6 日

リコー創業 50 周年にあたり、社史「リコー
50 年の歩み」の発行などを行った。

2000

1990

1980

リコー



「市村自然塾 関東」の入塾式、活動スタート

2002 年 3 月 30 日

市村清生誕 100 周年記念として“生きる力を大地から学
ぶ”をコンセプトに、子供たちを対象とした市村自然塾
関東が神奈川県にオープンした。

三愛会



市村の母校・北茂安小学校に 市村清展示コーナー誕生

1991 年 5 月 27 日

三愛会

三愛会、 創立 50 周年を迎える

1996 年 4 月 4 日

リコーエレメックス

リコー時計、 リコーエレメックス(株)に 社名変更

1986 年 4 月 1 日

本社看板も一新。



リコー

三愛ドリームセンターが 「日本における モダンムーブメントの 建物 100 選」に選出

2003 年 9 月

銀座の真ん中に位置し、特徴ある
丸いビルの美学、技術、思想が評
価された。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



「市村自然塾 九州」入塾式

2003 年 3 月 29 日

市村自然塾 関東に続き、市村自然塾 九州が佐賀県にオープン。

リコーエレメックス



リコーエレメックス、 創立 50 周年記念式典を開催

1988 年 4 月 23 日

記念式典では、社長挨拶、今後の展望、表彰、
講演会などさまざまなイベントが盛大に行わ
れた。

三愛石油



三愛石油、新貯油タンク完成

2020年2月

増設工事を進めていた航空燃料用の貯油タンク2基が完成した。

三愛石油

三愛石油、創立60周年を迎える

2012年6月9日

市村清新技術財団

新技術開発財団、公益財団法人 市村清新技術財団に改称

2018年4月1日

市村記念体育館



肥前さが幕末維新博覧会開催

2018年3月17日

メイン会場として活用され、10カ月間の総来場者数は220万人を超える。

リコーリース



リコーリース、創立30周年を迎える

2006年12月21日

記念ロゴを作成。

リコー



リコー、新施設「3L」を開設

2020年11月2日

リコー大森会館を改築、次世代ワークプレイス「3L (サンエル)」を開設。

三愛石油



三愛石油、羽田空港再拡張事業に伴う工事完了

2010年10月

国際線地区給油施設の建設、貯油基地タンクの増設、新桟橋建設を行った。

2020

2010

リコー

リコー、創立85周年を迎える

2021年2月6日

三愛会

市村清没後50年『三愛会会誌』特別号を発行

2018年7月

2019年1月

『三愛会会誌』161号、162号を特別号として企画・発行した。



リコー

RICOH

リコー、コーポレートブランドロゴをリニューアル

2005年9月

全体的に丸みを持ったラインにより、知的でありながら親しみやすさと人間性を表現。

三愛会

サガテレビ、西銀座デパート、エフエム佐賀が三愛会に入会

2019年10月1日

三愛会の常任理事会社のグループに属さない会社の三愛会入会は33年振りとなる。



リコー



脳磁計での測定の様子

リコー、ヘルスケア分野に参入

2016年3月14日

三愛石油



三愛石油、国際油化(株)の全株式を三井物産(株)より取得

2008年7月

三愛石油グループの一員として、販売ネットワークの拡大を図る。

瀬の本高原リゾート

三愛高原ホテル、瀬の本高原ホテルに屋号変更 三愛レストハウス、瀬の本レストハウスに屋号変更

2019年10月1日

2019年4月、両施設の運営会社である三愛観光(株)が瀬の本高原リゾート(株)に社名変更。それに伴い、同年10月、両施設の屋号もそれぞれ変更して、新たなスタートを切った。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン

吸収合併により、コカ・コーラウエスト(株)に社名変更

2009年1月

コカ・コーラウエストホールディングス、コカ・コーラウエストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、および三笠コカ・コーラボトリングを吸収合併。

リコーグループ



株式会社リコー
代表取締役 社長執行役員・CEO

山下 良則

リコーグループは、創業者・市村清による「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という創業の精神（三愛精神）を企業活動の原点に据え、「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす」ことを使命としています。

リコーはお客様への提供価値を“EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES”として定め、人々の“はたらく”の変革に取り組んでいます。従来の一般オフィスからさまざまな業種の現場を含めたワークプレイスへと価値提供の領域を拡大し、「人と情報をつなぎ、人の伝える力、人の生み出す力を支えること」「すべての働く場所に、デジタルの力で、人や組織の個性を伸ばし活力を与えること」を目指しています。

今、人々の生活や働き方は大きく変化しています。こうした変化に対応するために、私たちはOＡメーカーからの脱皮とデジタルサービスの会社への事業転換を進めています。そしてその先の未来を描き、創業100年に向けた私たちの想いを2036年ビジョン“はたらく”に飲みを”という言葉に込めました。業務の効率や生産性向上を超え、働く人の充足感や達成感、自己実現に目を向けて、“はたらく”に飲みを創り出すお手伝いすることが私たちの使命であると考えているのです。

リコーグループは事業活動を通じてSDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献することで、社員、お客様、お取引先、株主などすべてのステークホルダーの皆様を選ばれる会社になりたいと思っています。

リコージャパン株式会社

〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル
TEL 050-3534-0800

【事業内容】 設立：1959年5月2日
OA 機器等の販売およびオフィスのトータルソリューションの提供

URL <https://www.ricoh.co.jp/sales/about/>

株式会社リコー

〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
TEL 03-3777-8111

【事業内容】 設立：1936年2月6日
画像機器の製造・販売およびソリューションサービスの提供

URL <https://jp.ricoh.com>

リコーインダストリー株式会社

〒243-0298 神奈川県厚木市下荻野 1005
TEL 046-243-1210

【事業内容】 設立：2013年4月1日
事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置などとこれらの消耗品の製造ならびに販売など

URL <http://www.industry.ricoh.co.jp/>

迫リコー株式会社

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北散田 86
TEL 0220-22-4431

【事業内容】 設立：1973年4月16日
OA 機器製造、精密金属部品の工法開発から製造

URL <http://www.hasama.ricoh.co.jp/>

リコーエレメックスエーティー株式会社

〒509-7205 岐阜県恵那市長島町中野 1218-2
TEL 0573-25-8524

【事業内容】 設立：1995年9月28日
精密加工部品、LP ガス関連機器、腕時計等の製造・販売

URL http://www.ricohelemex.co.jp/about/group/at_outline.html

リコーエレメックス株式会社

〒444-8586 愛知県岡崎市井田町 3-69
TEL 0564-23-5111

【事業内容】 設立：1938年4月23日
精密加工部品、産業機器、OA 機器関連等の製造・販売

URL <http://www.ricohelemex.co.jp/>

リコーリース株式会社

〒102-8563 東京都千代田区紀尾井町 4-1
TEL 03-6204-0700

【事業内容】 設立：1976年12月21日
リース・割賦事業、金融サービス事業

URL <http://www.r-lease.co.jp/>

リコーテクノロジーズ株式会社

〒243-0460 神奈川県海老名市泉 2-7-1
TEL 046-292-9550

【事業内容】 設立：2013年4月1日
事務機器、光学機器、印刷機器、周辺機器、消耗品等の開発・設計および販売など

URL <http://www.technologies.ricoh.co.jp/>

テクノレント株式会社

〒108-8521 東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル 5 階
TEL 03-6858-9300

【事業内容】 設立：1983年11月30日
各種計測器・IT 機器のレンタル・計測・校正・機器点検等の受託技術サービス・各種機器の販売など

URL <http://www.techno.co.jp/>

リコークリエイティブサービス株式会社

〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
TEL 03-3777-2685

【事業内容】 設立：1980年2月6日
事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など

URL <http://www.rcs.ricoh.co.jp/>

SBS三愛ロジスティクス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平 4-1-3
TEL 03-6316-2300

【事業内容】 設立：1977年11月28日
地域における物流トータルソリューション事業

URL <https://www.sbs-ricohlogistics.co.jp/rlsc/sbs-sanai/>

SBSリコーロジスティクス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平 4-1-3
TEL 03-4214-5500

【事業内容】 設立：1964年2月1日
国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業

URL <https://www.sbs-ricohlogistics.co.jp/>

リコー電子デバイス株式会社

〒563-8501 大阪府池田市姫室町 13-1
TEL 072-748-6266

【事業内容】 設立：2014年6月2日
電子デバイス製品等の開発・生産・販売、電子デバイス設計
受託サービス、電子デバイス製造受託サービス

URL <http://www.n-redc.co.jp/>

リコーインダストリアルソリューションズ株式会社

〒222-8530 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-2-3
TEL 045-477-1700

【事業内容】 設立：2014年6月4日
光学・精密機器、製造・検査装置、材料・部品、ソフトウェア・
システム等の開発、設計、製造、販売、サービス

URL <http://www.rins.ricoh.co.jp/>

リコーテクノリサーチ株式会社

〒243-0460 神奈川県海老名市泉 2-7-1
TEL 046-292-5372

【事業内容】 設立：1989年6月1日
特許調査・外国出願（米欧中韓の翻訳）・特許管理

リコー IT ソリューションズ株式会社

〒224-0035 神奈川県横浜市都筑区新栄町 16-1
TEL 050-3817-3900

【事業内容】 設立：1982年10月5日
システムインテグレーション事業、IT サービス事業、組込み
ソフトウェア事業

URL <http://www.jrits.co.jp/>

リコーエスポアール株式会社

〒243-0298 神奈川県厚木市下荻野 1005
TEL 046-243-1590

【事業内容】 設立：1994年4月22日
サービスパーツ包装、梱包業務・リサイクル

三愛石油グループ



三愛石油株式会社
代表取締役社長

塚原 由紀夫

選ばれ続ける企業グループを
実現してまいります。

三愛石油は、1952年の創業以来、羽田空港での航空燃料給油システムを独自に開発し、航空業界の発展に寄与してまいりました。その後、社会のニーズに対応しながら石油事業、LPガス事業、化学品事業へと事業を拡大し、現在ではこれらのコアビジネスに加え、環境にやさしいエネルギーである天然ガス事業や潤滑油にも力を入れています。

当社を取り巻くエネルギー業界は、石油元売り再編や電力・都市ガスの小売自由化などの数年で大きく変化しています。さらに、政府から2050年温室効果ガス排出実質ゼロへの取り組みが表明されました。業界内の影響は定かではありませんが、当社もこの問題を重要な経営課題として認識し、地域のライフラインを維持するために柔軟に対応してまいります。

三愛石油グループは、経営理念である三愛精神「人を愛し国を愛し勤めを愛す」のもと、経営環境の変化を長期的な視点で的確にとらえ、その変化に機敏に対応することで、選ばれ続ける企業グループを実現してまいります。また、コーポレートガバナンスの強化や健康経営の推進など社会の要請・課題の解決に努めるとともに、持続可能な開発目標SDGsへの取り組みを進めていくことで、ステークホルダーのみなさまからの信頼に応えてまいります。

コーポレートブランドに込めた想い

Obbli

変化の激しいエネルギー業界のなかで、私たちは「顧客、地域、社会と共に、良い関係を結んでいく」ことを決意し「エネルギーサービスNo.1カンパニー」を目指します。そのために、お客さまからいただいた「ありがとう」の言葉を大切に受け止め、自らのエネルギーに変えて地域社会の発展のために邁進していきたいと願っています。

この**Obbli**は、三愛石油グループが提供する高品質な「エネルギーサービス」の象徴であると同時に、未来への希望と誓いのシンボルでもあります。

■ Obbli (オブブリ) ネーミングの語源

Obbligare : 結びつける (ラテン語)

Obbligato : 旋律的な伴奏 (イタリア語)

Obbligo : 感謝の気持ち (イタリア語)

キグナス石油株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-2 大手町プレイスイーストタワー
TEL 03-5204-1600

【事業内容】 設立：1972 年 2 月
石油製品および石油化学製品の販売、輸出入

三愛石油株式会社

〒100-8154 東京都千代田区大手町 2-3-2 大手町プレイスイーストタワー
TEL 03-6880-3100

【事業内容】 設立：1952 年 6 月
石油製品および L P ガス等の販売、航空燃料取扱業

佐賀ガス株式会社

〒849-0914 佐賀県佐賀市兵庫町大字西瀬 1996
TEL 0952-30-6161

【事業内容】 設立：2002 年 10 月
都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売

国際油化株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-22-5 オブリ・ユニビル
TEL 03-6810-3900

【事業内容】 設立：1953 年 9 月
石油製品等の販売

三愛オブリガス東日本株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-22-5 オブリ・ユニビル
TEL 03-6864-1833

【事業内容】 設立：1972 年 7 月
LP ガス・ガス器具等の小売販売

三愛プラント工業株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-22-5 オブリ・ユニビル
TEL 03-6864-1850

【事業内容】 設立：1978 年 5 月
エンジニアリング事業、クリーンテクノロジー事業

三愛オブリガス三神株式会社

〒842-0003 佐賀県神埼市神埼町本堀 3003-6
TEL 0952-53-1221

【事業内容】 設立：1972 年 9 月
LP ガス・ガス器具等の小売販売、建設業

三愛オブリガス九州株式会社

〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町 5-32 オーシャン博多ビル
TEL 092-291-1731

【事業内容】 設立：1978 年 10 月
LP ガス・ガス器具等卸売・小売販売など

株式会社三愛ガスサービス

〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町 5-32 オーシャン博多ビル
TEL 092-291-1750

【事業内容】 設立：1977 年 12 月
LP ガスの配送・充填

三愛石油カスタマーサービス株式会社

〒780-0870 高知県高知市本町 4-2-52 オカバ高知ビル
TEL 088-888-7200

【事業内容】 設立：2006 年 10 月
石油関連製品等の受発注業

株式会社トスプロ

〒841-0066 佐賀県鳥栖市儀徳町 2927-1
TEL 0942-83-3059

【事業内容】 設立：1971 年 12 月
LP ガス・ガス器具等の小売販売



サガテレビ

サガテレビは、1969年4月に開局した佐賀県唯一の民間テレビ放送局。開局以来、地元の報道機関としての役割はもとより、佐賀県民が知りたい話題、地元の祭りやスポーツの番組制作にも積極的に取り組んでいます。東京・フジテレビをキーステーションとしたフジネットワーク（全国28局）の一局として、佐賀県を中心としたホッとな情報を全国に発信。2019年4月に開局50周年を迎え、グループ会社の力を結集して、テレビはもとよりその枠を超えるべくチャレンジを続けています。



SAGATV

株式会社サガテレビ

〒840-8558 佐賀県佐賀市城内 1-6-10
TEL 0952-23-9111

【事業内容】 設立：1968年3月16日
放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業

URL <https://www.sagatv.co.jp/>

西銀座デパート

西銀座デパートは、1956年6月に設立され、58年10月にショッピングセンターの先駆けとして開店しました（開店時社長は市村清）。

戦後復興の中、銀座の名所であった数寄屋橋が架かる外堀が高速道路建設のために埋め立てられ、その高架下に事務所・商業施設がつくられました。

その中心、数寄屋橋交差点前にある西銀座デパートは、アパレルを中心にランジェリー、ビューティー&コスメ、水着売場など60店舗近いショップが並び、今もなお、高感度な女性たちが集まる場所として愛されています。



NISHIGINZA

株式会社西銀座デパート

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15
TEL 03-3566-4008

【事業内容】 設立：1956年6月13日
不動産賃貸業及び商業施設運営管理

URL <https://www.nishiginza.co.jp/>

エフエム佐賀

エフエム佐賀は、佐賀県を放送対象地域とする超短波放送（FMラジオ放送）事業を行っている特定地上基幹放送事業者で、1992年4月に開局。FM東京をキー局とする38局ネットワーク（全国FM放送協議会（JFN）の一員として、日々放送活動が続けてきました。また、2000年には鳥栖中継局を開局し、エリアの充実や24時間放送を開始しています。

エフエム佐賀はこれからも、お客さまのご期待にお応えするワンストップ・ソリューションメディアとして活動してまいります。



fms
Friendly Media of Saga

株式会社エフエム佐賀

〒840-0023 佐賀県佐賀市本庄町大字袋
286-5 サガスクエアビル
TEL 0952-25-7790

【事業内容】 設立：1991年5月27日
放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業

URL <http://www.fmsaga.co.jp/>

瀬の本高原リゾート

瀬の本高原リゾートは、阿蘇くじゅう国立公園の一角にある瀬の本高原に位置し、半世紀以上にわたり、レストハウス、ホテルを中心とした観光事業を営んでまいりました。

2019年4月、三愛観光（株）から瀬の本高原リゾート（株）に社名変更。さらに三愛高原ホテルは「瀬の本高原ホテル」に、三愛レストハウスは「瀬の本レストハウス」にそれぞれ屋号を変更して、新たなスタートを切りました。これからも阿蘇地域の観光発展に向けて邁進してまいります。



瀬の本高原リゾート株式会社

〒869-2402 熊本県阿蘇郡南小国町
満願寺 5621-7
TEL 0967-44-0513

【事業内容】 設立：1965年8月25日
観光ホテル、ドライブイン等の運営

URL <https://senomoto.com>

リコー三愛グループ健康保険組合

リコー三愛グループ健康保険組合は1958年1月1日に設立され、政府に代わって企業の独自性を生かしながら健康保険事業を運営しています。20年12月末現在、被保険者数は4万1868名、被扶養者は4万1843名です。

今後、高齢者拠出金の高騰により他の健康保険同様に財政が圧迫されることが予想されますが、組合員皆さんの健康、医療の面で、安心した生活ができるよう積極的な活動をしています。

健康保険組合の仕事

■保険給付／医療給付を中心として、被保険者や被扶養者の病気のけが、出産などのとき、医療費の負担や給付金の支給をしています。保険給付には、法律で定められた法定給付と、私たちの健康保険組合が独自に行う付加給付の2つがあります。

保健事業／健康づくりのために

被保険者とその被扶養者の皆さんの健康の保持増進を図る事業です。

健康診断の補助や保健指導、ウォーキングなど運動促進、また、メタボリックシンドローム予備軍の減少を重点に活動しています。

検診センター（東京都品川区）

健康保険組合が直接に運営する健康診断事業の施設です。直営施設のメリットを生かして適正料金で健康診断を実施しています。2020年、内装をリニューアルしました。



リコー三愛グループ健康保険組合

〒140-8665 東京都品川区南品川 6-11-6
TEL 03-3740-4881

【事業内容】 設立：1958年1月1日
加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
URL <http://www.ricoh-san-ai-kenpo.or.jp/>

公益財団法人 市村清新技術財団

当財団は1968年12月12日、内閣総理大臣により設立許可され、同月16日に逝去したリコー三愛グループ創業者・市村清の遺言により、個人所有の全有価証券（リコー三愛グループ各社のもの）が財団に寄贈されました。

その後88年1月8日に逝去した夫人所有の有価証券（同）、その他の財産も遺言により財団に寄贈され、財団はこれらの財産の果実（主に配当金）をもって運営されています。

当財団は、創立者が提唱した「三愛精神」のもと、技術革新による新分野を醸成開拓することが最も重要であるとの観点に立ち、日本の経済社会の発展と国民生活の向上に寄与したいとの遺志に基づき、次の事業を展開しています。

- 新技術開発助成
- 市村賞贈呈
- 植物研究助成
- 少年少女創造性育成
- 市村アイデア賞贈呈 キッズ・フロンティア・ワークショップ
- 市村地球環境賞
- 地球環境研究助成
- 市村賞受賞記念フォーラム

創立50周年を機に、以下の新事業を開始しています。



公益財団法人 市村清新技術財団

〒143-0021 東京都大田区北馬込 1-26-10
TEL 03-3775-2021

【事業内容】 設立：1968年12月12日
新技術開発助成、市村賞贈呈、植物研究助成、少年少女創造性育成、市村地球環境賞、地球環境研究助成、市村賞受賞記念フォーラム
URL <http://www.sgkz.or.jp/>

リコーグループ福祉会

リコーグループ福祉会は、リコーグループ会社の共済制度を担う団体として2016年10月1日にスタートしました。

リコーグループ福祉会の会員会社は、18社・2万649名（20年12月1日現在）です。

また、リコーグループ福祉会の会員の皆様には、日常のお困りごと（法律・税務・相続・介護・不動産・心理・社会保険など）を無料で相談できる窓口も開設しています。

主な共済給付内容

死亡給付／入院給付／後遺障害給付
結婚、出産祝金／家族弔慰金
傷病見舞金／災害見舞金
遺児育英年金／退会餞別金
など



リコーグループ福祉会

〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
TEL 03-3777-4278

【事業内容】 設立：2016年10月1日
リコーグループ各社への共済事業
URL <http://www.rnavi.com/fukushikai/>

「三愛会」の歩み

発足

『従業員は事業の協力者である。信条とする三愛主義を徹頭徹尾貫いて、彼らが勤めを楽しい面白いこととして愛するように導いていきたい。そして、働くことに何の心配もつきまとわない、世界のどこにも類例のない独特の『市村産業団』というものを作り上げていきたい』

創業者・市村清は、創業当時から抱いていたこの思いを実現するためには、各社相互の連携を図ることが大切だと考え、1944（昭和19）年8月、市村が創業した理研光学工業、理研特殊製鉄など7社で、三愛会の前身である「自蹊会^{じけかい}」を設立しました。

そして終戦翌年の46（昭和21）年4月4日、「自蹊会」を「三愛会」と改称し、その目的を「傘下各社の連絡統制を図り関係事業の助長を期する」としました。

同年12月、機関誌『三愛』（現『三愛会会誌』）を創刊し、誌上で「三愛精神」（人を愛し国を愛し勤めを愛す）を発表しました。

グループ各社とその社員たちが三愛会や機関誌『三愛』を介して強い絆で結ばれること、それが市村の望みでした。

目的

68年（昭和43）年12月16日、市村は急逝しました。後を託された館林三喜男第2代三愛会会長は、翌年12月、新たな三愛会の目的を、「本会は、創業者市村清の経営理念である三愛精神『人を愛し国を愛し勤めを愛す』を基盤とするリコー三愛グループ各社をもつ

そしてこれから

て構成し、創業者の遺志を尊重して会員会社相互の発展と団結、ならびにグループのイメージアップをはかることを目的とする」と定めました。

三愛会の目的は今も変わらず引き継がれています。

活動

時代を経るに従い、三愛会はその時代の環境変化に合わせて、活動を変えながら今日に至っています。

リコー三愛グループの経営統制活動に重きを置いた時代、グループ共通の福利厚生活動に重きを置いた時代、グループ各社間のコミュニケーションに重きを置いた時代、グループ外へのPR活動に重きを置いた時代などさまざまな時代を経て来ました。

その間、変わらず大切にされた活動は、創業者・市村清を顕彰する活動と、「三愛精神」を次の世代につなげる活動でした。

これから

三愛会は変わらず大切にしている活動と新たな一歩を踏み出す活動に取り組めます。

まず、市村清顕彰活動と、「三愛精神」を次の世代につなげる活動はこれからも続けていきます。

そして、「会員各社が共同で取り組む活動を通して、社会的価値を提供し、より強い絆を築く」こと、それが新たに踏み出す一歩です。

これらの活動を通して、リコー三愛グループ各社および社員間の絆を深めるとともに、グループ外からの信頼と好感を得ることを目指します。

市村清の著書・関連図書

●近刊



『茨と虹と市村清の生涯』
（改訂版）

尾崎芳雄著

日本経済新聞に掲載された「私の履歴書」を担当した著者（当時新聞記者）が、創業者・市村清の全生涯の記録をまとめた伝記。

佐賀県の貧農の子から身を起こし、激動の昭和産業史に異色の実業家として光を放った市村の人生を描く。



『市村清実践哲学』
（新装版）

市村清著

市村清が生涯貫き通した実業家としての姿勢とは、どのようなものだったのか。

全7章にわたる市村の実践哲学は、人はどう生きるべきか、企業人はどうあるべきかを示唆する内容に富んでおり、私たちに前に進む力を与えてくれる。



主な活動

三愛会では、創業者・市村清の顕彰と「三愛精神」を次の世代につなげる役割を担ってさまざまな活動を実施しています。

■ホームページの運営

三愛会のさまざまな活動やグループ創業者・市村清・三愛会会員の紹介や情報を発信しています。

●今月の市村清

コラム「今月の市村清」を連載中（毎月1日に更新）。貧しかった幼少時代の市村や、不屈の精神と時代の先を読み越したアイデアで事業家として成功を収め、世の中のために尽くした市村など、市村らしいエピソードを紹介していきます。

●市村清 ゆかりの人物

新コンテンツ「市村清 ゆかりの人物」を2020年10月からスタートしました。

市村が事業を立ち上げ、成功を収めるに至った陰には、多くの人たちの存在がありました。市村を支えた人々、市村が師と仰ぎ尊敬した人々など、運命的な人々との出会いを紹介していきます。



■三愛会オリジナルキャラクター「チビ清」

少年期の市村をモチーフにしたオリジナルキャラクター「チビ清」。(全13種類) 三愛会のさまざまな活動を、元氣よく、楽しく伝えるアイコンとして活用しています。



■愛の手募金活動

リコー三愛グループ社員による「愛の手募金」は、1975年にスタートしました。毎年集められた浄財は、社員の遺児や重度の障がいを持つお子さんたちにプレゼントとして贈呈しています。



■三愛会支部活動

北海道、東北、東京、神奈川・東静岡、中部、近畿、中国、九州の8支部を置き、さまざまな活動や行事を展開しています。

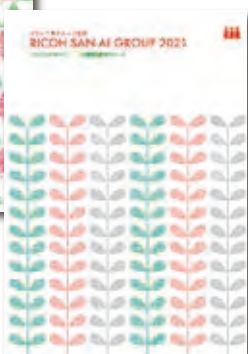
■『三愛会会誌』の発行

年2回発行。リコー三愛グループ社員向けに、グループ各社のニュース、特集などを掲載した機関誌です。



■『リコー三愛グループ案内』の発行

年1回発行。三愛精神およびリコー三愛グループや三愛会について紹介した広報誌です。三愛会ホームページでも内容を閲覧できます。



三愛会

〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
TEL 050-3534-3401

設立：1946年4月4日

構成

- 会 員 会 社 36社・団体（2021年1月1日現在）
従業員数 約 38,000 名
- 常任理事会 三愛会の最高議決機関。三愛会会長と
常任理事会社4社※の社長で構成
※リコー、三愛石油、リコーエレメックス、
リコーリース
- 理 事 会 三愛会に関するあらゆるテーマについて
検討し、常任理事会に提案
- 支 部 全国8支部
- 総合事務局 東京に本部
各常任理事会社、各会員会社、各支部と
連携を取って、三愛会活動を推進

URL <https://san-ai-kai.jp/>



宛名の
横書き

宛名の
縦書き

QRコード
バーコード

※QRコードは最大12.7mm、バーコードは最大13.5mmになります。

サッとスライド。きれいにプリント。 オフィスの新しい必需品です。

書きたい場所にスライドさせるだけで、宛名の横書き・縦書きはもちろん、
QRコードやバーコード、イラストの印刷までサッと手軽に行える「RICOH Handy Printer」。
多彩な機能を片手におさまるコンパクトなボディに搭載し、
オフィスワークの効率化を力強くサポートします。

一歩先ゆく新感覚のプリンター、これが印刷の新しいカタチ。

RICOH Handy Printer



●Black

●Red

●White

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

RICOH Handy Printerに関するお問い合わせは下記のダイヤルで承っております。

お問い合わせ窓口

0120-235-061

●受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日および弊社休業日を除く）
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。
※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告無く変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<https://www.ricoh.co.jp/prINTER/handy-printer/>

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555